

本研究集会の趣旨説明

日本地球惑星科学連合教育検討委員会

教育課程小委員会委員長

宮嶋 敏(埼玉県立熊谷高等学校)

本研究集会の趣旨(1)

- 高校地学基礎の教科書は5社から発行されている。必ず学ぶべき用語として太字で表されている語(以下、重要語)については、各社ごとに**取り上げている語や個数が異なっていたり、同じ概念を示す用語が異なる語**で示されているなどの課題が見られる。また地球科学的に**重要な数値が異なる**例も散見される。

本研究集会の趣旨(2)

- 将来的に重要語や数値を統一することを視野に入れ、この件に関して先行事例を有する学協会や中学理科教科書編集部からの情報を基に、今後の我々の取組として必要なことは何かについて議論を行う。

地学基礎とは

- Geoscience for All として2012年から講座開始
- 人間生活との関連を重視
- それまでの基礎的地学科目（地学□ など）の履修率（7～8%）から一気に上昇（約25%超）
- 地学教員の採用が増えたわけではないので、**地学専門以外の教員が教えるという状況**を生み出す
- 概念よりも用語の修得になりがち？（生徒・教員）

各科目履修率の変化

年度	2011*		2016**		2023**	
	需要数	履修率	需要数	履修率	需要数	履修率
物理 I	356000	27.4				
化学 I	688000	53.0				
生物 I	822000	63.4				
地学 I	91000	7.0				
物理基礎			725273	57.0	678406	52.9
化学基礎			1031133	81.0	966280	75.3
生物基礎			1083980	85.2	1031437	80.4
地学基礎			339866	26.7	302978	23.6
保健	1297000	100.0	1272341	100.0	1282608	100.0

*教科書レポート **内外教育

重要語のバラツキの実例

教科書会社	重要語数
A社	312
B社	127
C社	209
D社	233
E社	276

教科書本文で重要語(太字)とされた語の数

同じ概念を表す語句

教科書 会社	堆積構造	地震の種類
A社	級化層理	プレート境界地震
B社	級化層理(級化成層)	海溝付近の地震
C社	級化構造(級化層理)	プレート境界地震
D社	級化構造(級化層理)	プレート境界地震
E社	級化成層(級化層理)	プレート間地震

同じ事物を表す数値

教科書 会社	海洋地殻 の厚さ	圏界面の高さ * 数値には約がつく
A社	6～8km	10km
B社	なし	高12～15km、低8～10km
C社	5～10km	平11km、高17km、低9km
D社	5～10km	11km
E社	2～10km	11km